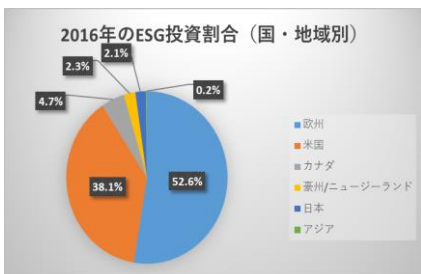
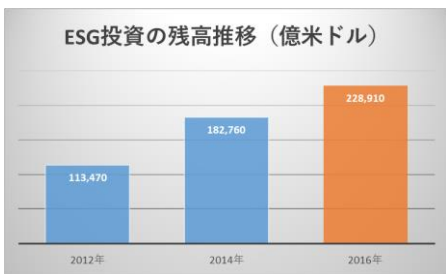
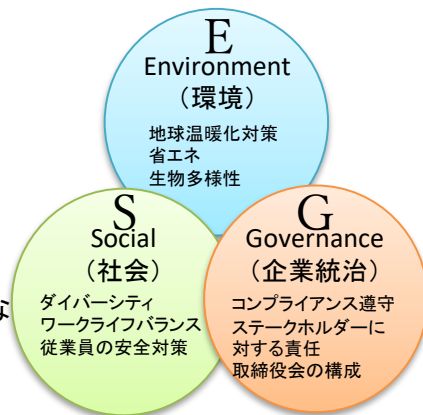


Oome News Letter

ESG投資とは？そして企業に求められるものとは？

* ESG投資とは？ *

近年、「ESG投資」というキーワードを目にすることが多くなっています。ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字を取ったものです。企業の長期的な成長のためには、ESGが示す3つの観点が必要だという考え方が世界的に広まってきています。一方、ESGの観点が薄い企業は、大きなリスクを抱えた企業であり、長期的な成長ができない企業だということを意味します。ESGの観点は、企業の株主である機関投資家の間で急速に広がっており、投資の意思決定において、従来の財務情報だけを重視するだけでなく、ESGも考慮に入れる手法は「ESG投資」と呼ばれる様になりました。ESGと似た概念にSRI(社会的責任投資)という言葉がありますが、最近ではESG投資がより使われています。



世界のESG投資の状況をまとめているGSIAの報告によると、2016年の世界のESG投資残高は22兆8,910億ドル(日本円で2,500兆)にも上り、2012年からの推移では、左図の通り4年で約2倍に拡大しています。

* 日本国内での動き *

日本国内では、2017年7月にGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)がESG指数を選定し、これらのESG指数を用いて1兆円運用すると発表しています。このことから、国内企業においてもESGに対応した経営にシフトする動きが見られています。企業がESGへの対応を推し進める背景には、①ESGを重視している投資家からの資金流入による将来的な株価向上、②ESG対応企業としてのプレゼンス向上、③リスクマネジメントの観点から潜在的なリスクに対応し企業価値の毀損リスクを抑制できることなどが挙げられます。有名企業では小松製作所、アサヒグループHD、東レなどが挙げられ、大企業中心にステークホルダーである中小企業に対してもその対応が徐々に求められています。

* 中小企業にとってのESG *

ESG投資が世界的に広まっている中で、中小企業はどのような対応を今後取っていくべきなのでしょう。例えば「環境」の場合、「エコカー」や「太陽光発電」の導入などが挙げられるでしょう。特に太陽光発電については、工場・倉庫の屋根上、駐車場の屋根等に太陽光発電設備を設置し、「自家消費型太陽光」として活用することで、自社の消費電力を削減することも立派な取り組みです。当社では太陽光発電のご提案をさせていただいております。今回のESG投資の観点はもちろんですが、太陽光発電にはその他にも「優遇税制」や「補助金」を利用できるなど、様々なメリットがございます。太陽光発電なら大目商店にぜひ一度ご相談ください！

株式会社大目商店

〒720-0843
 広島県福山市赤坂町赤坂1389-1
 TEL : 084-951-2334
 FAX : 084-952-2038

ご相談

各種申請

お見積り

無料